広報向日市

No.324

昭和５９年３月１日

◎発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集　秘書広報課　◎電話　075（931）1111

まちのうごき

（２月１日現在）		（１月中）	
世帯数	16,387世帯	生れた人	68人
人口	51,747人	亡くなつた人	22人
男	25,507人	転入した人	179人
女	26,240人	転出した人	232人

幹線10路線と都市公園３ヵ所

新しい呼称に

公共施設の名称見直し►協議会が答申

西国街道や噴水通

長岡京遷都千二百年を契機に、文化的なふるさとづくりにふさわしい公共施設の名称をと、その見直しを審議していた「公共施設の名称に関する協議会」（安田一郎会長）は、市内の幹線道路十路線の愛称と都市公園三カ所の新名称を決定し、民秋市長に答申を行いました。

これにより、市では、五十九年度から新しい愛称、名称を標示、市民に親しまれるよう普及をはかることにしています。

本市では、地域幹線道路が「府道樫原・高槻線」「市道何千何百何号線」という呼び方になっていること、都市公園は大半がその地域の地名であること、保育所は設置された順番によるナンバー制、その他公共施設については市名、地名、用途などの名称になっていることから、「位置がわかりにくい」「なじめない」という市民の声があがっていました。

こうした中で、二十一世紀に向けて文化的なふるさとづくりを進めるためには、日常生活において親しまれ、わかりやすい公共施設の愛称、名称をつけることにより、市民のふるさと意識をさらに高めていく必要があります。

このことから、「公共施設の名称に関する協議会」は、民秋市長の諮問を受けて、昨年十月に「教育施設の名称に関する協議会」とともに、歴史や都市計画専門家などを含む各分野各層から人選された代表二十一人により設置されました。

そして六回にわたり、主要道路、都市公園、保育所、市民会館などの公共施設について名称見直しのための慎重な審議が行われました。

答申では、幹線道路は市内の国道一路線、府道九路線、市道四百八十路線の中から、府道五路線、市道五路線の計十路線の愛称について、歴史的な通称、地域名、沿線の特徴などから選ばれ、南北路線を「街道」、東西路線を「通」と呼ぶことにしています。

愛称は▽物集女街道（府道樫原・高槻線）▽永田通（市道寺戸幹線１号）▽西ノ岡竹林通（市道１０３６号線ほか）▽西国街道（府道向日町停車場線ほか）▽大原野道（府道上久世・石見・上里線ほか）▽大極殿通（市道寺戸・鶏冠井幹線）▽番田通（府道志水・西向日停車場線ほか）▽西新道（府道樫原・高槻線）▽噴水通（市道６０１９号線）▽中筋通（市道上植野幹線）となっています。

物集女街道

長岡宮跡公園は大極殿公園に

都市公園、児童公園の名称については、長岡京跡の発掘調査などにより大極殿の遺構が確認され、学術的な位置付けも明確になっているため▽大極殿公園を北大極殿公園に▽長岡宮跡公園を大極殿公園に▽東荒内公園を内裏公園に―改めることが望ましいと答申されています。

しかし、その他の公園については、地域に密着した地名などがつけられており、広く市民に親しまれ定着しているため現行どおりとなっています。

他の公共施設は現行どおり

保育所の名称については設置順序によるナンバー制となっていますが、現在のところ名称も定着しており改めねばならない必然性も見当らないため現行どおりとしていますが、同じく設置順になっている小学校名が変更される場合には、再度検討されるよう付帯意見が付けられています。

また、その他の公共施設として、市民会館、保健センター、老人福祉センター、浄水場および市営住宅については、各施設名とも広く市民に定着しているため、現行どおりとされています。

59年度から標示の予定

市では、「公共施設の名称に関する協議会」から出されたこれらの答申を受けて、三月市議会に市都市公園条例の一部改正案を提案し、三公園の名称変更を行う予定です。

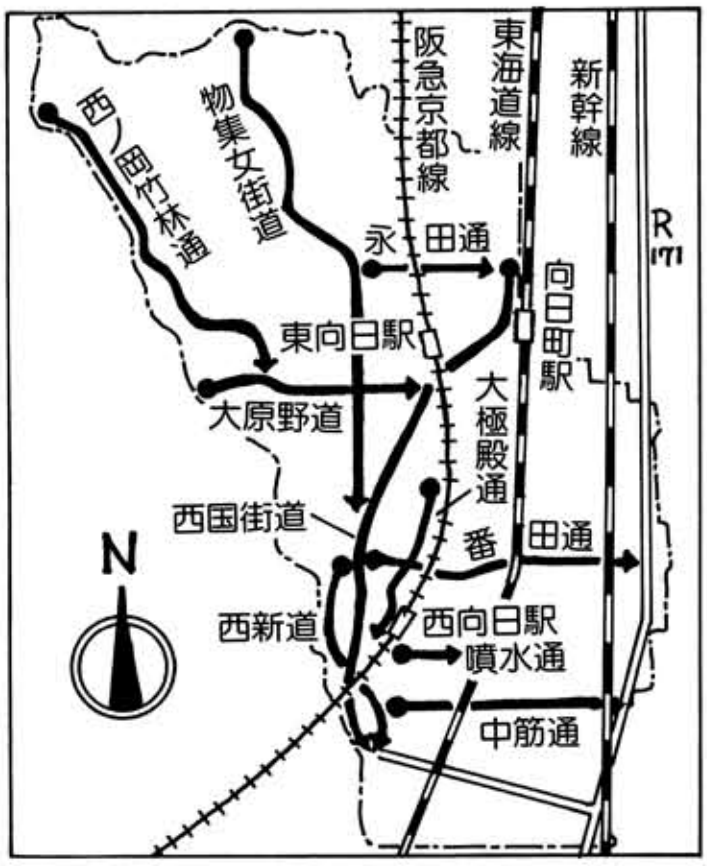
また、道路名は行政事務のうえから名称変更が難しいため、愛称として五十九年度から標示を掲げ、広く市民に親しんでもらえるよう取り組んでいく予定にしています。

北大極殿公園

大極殿公園

内裏公園

愛称で呼ばれる幹線10路線



永田通

噴水通

中筋通

西ノ岡竹林通

西新道

番田通

大極殿通

大原野道

西国街道

■市民憲章標語　「きずこう　明るいくらしと　福祉のまち」　向日市民憲章推進協議会■